

〔改訂版〕

NPO全国精神障害者地域生活支援協議会

あみ

# 中国ブロック研修会

in 岩国

[ámi]

障害者自立支援法全面施行から1年

検証  
障害者自立支援法  
〜今ここで寄りそふことは〜

とき : 2008年2月16日(土) 10:00~16:45 (受付 9:30~)

ところ : 岩国市福社会館 2階 小ホール

(山口県岩国市麻里布町7-1-2)

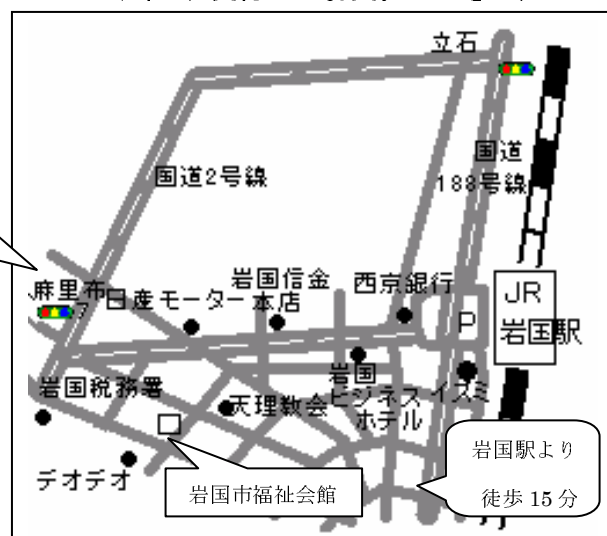
定員 : 150名

参加対象 : 作業所・事業所・施設等の職員及び利用者, 当事者, 家族, 行政職員, ボランティア, その他精神保健福祉に関心のある方

参加費 : 会員 : 2,500円, 一般(非会員) : 3,500円, 当事者 : 1,000円

(当日、受付にてお支払ください)

有料の駐車場がございますが、数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください



申込み : 裏面の申込書に必要事項をご記入のうえ、下記事務局まで、郵送もしくはFAXにてお送りください(お一人一枚をお願いします)

主催 : NPO 法人全国精神障害者地域生活支援協議会 (あみ)

〈あみ 中国ブロック研修会事務局〉 (この研修についてのお問い合わせ・お申込み先)

地域生活支援センタートライアングル (担当: 岡田・元岡) 〒741-0081 山口県岩国市横山1-12-51

TEL: 0827-44-3244 / FAX: 0827-44-3245

**開  
催  
言**

障害者自立支援法の全面施行から1年が経過しようとしています。

障害者自立給付支援法は三障害の統一サービス給付や全国同一サービスを理念としていますが、障害認定区分や個別給付の日払い制など精神障害者の障害特性に充分配慮しているとはいえません。また、一割の定率負担、退院支援施設問題、施設を利用する障害者の労働者性問題、相談支援事業の展開、自立支援協議会など、地域生活支援の現場では様々な課題に直面しています。

移行についてみれば、小規模通所授産施設が徐々に個別給付に移行している反面、小規模作業所は自治体の取り組み状況に差異があり地域活動支援センターへの移行はなかなか進んでいません。地域活動支援センターは地域生活支援事業に位置づけられていますが、小規模作業所の自治体補助金実態を引き継ぎ、地域活動支援センターの地域格差はより一層拡大・固定化していくように見受けられます。都市と地方の格差問題は、日本で生まれたことより、どこで生まれ、どこで生活するのかということによる問題になって現れてきています。

2009年(平成21年)は自立支援法の見直しが設定されています。厚生労働省の見直し案を待つことなく、私たち「あみ」の地域生活支援の視点で現状の問題点や改善点を把握し提案し、見直しを求めていく必要があると考えます。それには今年から来年にかけてが非常に大切な期間といえます。

この意味で、2007年度ブロック研修会は、「あみ」だけでなく当事者や家族、従事者にとって、地域課題や実践も含めた重要な研修会となります。昨年度の研修会の成果を踏まえ、地域の住民と共に、遅れている精神障害者の地域生活支援がさらに充実する議論が深まることを期待します。

**7  
0  
グラム**

9:30	(受付開始)	
10:00	●開会式	
10:15	●講演 演題:「検証 障害者自立支援法」 講師:田中直樹(全国精神障害者地域生活支援協議会 事務局長)	
12:00	昼食・休憩	昼休憩 60分
13:00	●厚生労働省行政報告 講師:厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部	
14:00	休憩	休憩 15分
14:15	●シンポジウム テーマ:「今ここで寄りそうこととは ~精神障害における個別支援~(仮)」 シンポジスト:光田武氏(NPO法人ふらっとコミュニティ 理事)(山口) :樋谷正俊氏(岩国市 健康福祉部 高齢障害課 障害福祉係 係長)(山口) :西井巖氏(地域活動支援センターコーヒーショップあんず PSW)(広島) :大下哲史氏(独立行政法人 賀茂精神医療センター PSW)(広島) コーディネーター:岡村孝治氏(いしい記念病院 福祉ホームすばる 施設長)(山口) 助言者:厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部	
16:45	●閉会式	

あみ 中国ブロック研修会(2008年2月16日) 参加申込書 <送付先 FAX: 0827-44-3245>

(フリガナ) お名前	ご所属			
連絡先 (TEL: )	*右の欄の 当てはまる 項目へ○を してください	会 員 (2,500円)	一般(非会員) (4,500円)	当 事 者 (1,000円)

(\*参加費は、当日受付にてお願いします)